

3. 新鶴村

(1) 新鶴村の位置

新鶴村（村役場）は、北緯37度30分，東経139度50分に位置しています。面積は40.54平方キロメートルで北東から南西に向けて長くなっています。標高はおよそ201メートル（村役場）の地点にあります。

会津地方の中心都市・会津若松市から西に約12キロメートルはなれていて，東は北会津村，西は柳津町，南は会津高田町，北は会津坂下町と隣りあっています。

(2) 新鶴村の歴史と文化

新鶴村の歴史は古く，佐賀瀬川^{さか せがわ}を中心に，石器^{どき}や土器^{どぐう}などが見つかかり，大昔から長い間人が住んでいたことがわかります。また，仏教^{ぶつぎょう}の歴史も古く，658年には「根岸^{ねがし}」に恵隆寺^{えりゅうじ}が建てられたと伝えられています。810年には徳一上人^{とくいつしやうにん}により，佐賀瀬川^{さか せがわ}に興隆寺^{こうりゅうじ}が建てられ，大日不動尊^{だいにち ふ どうそん}がまつられています。

「中田^{なか だ}の観音様^{かんのんさま}」として有名な弘安寺^{こうあんじ}は1260年に建てられ，現在，銅像^{どうぞう}十一面観世音菩薩^{めんかん ぜ おん ぼ さつ わき じ}，脇侍^{わき じ}不動明王^{ふどうみょうおう}，地蔵菩薩^{じぞう ぼ さつ}の3体が国の重要文化財^しに指定^しされています。



▲中田観音